

下水道グローバルセンター



Japan

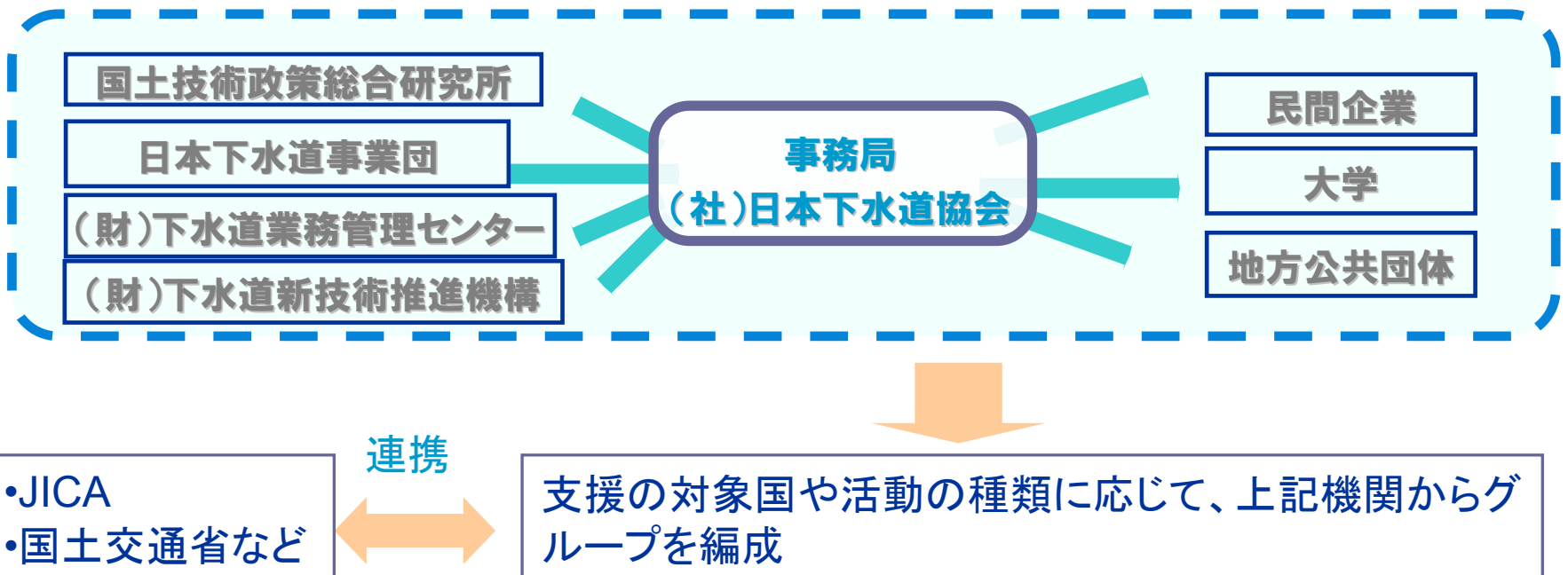
GCUS

★ GCUS: Japan Global Center for Urban Sanitation

2010年1月8日

1. 下水道グローバルセンター(GCUS)とは

- 計画・建設から管理・運営に至るまで、日本の産学官のあらゆるノウハウを結集し、海外で持続可能な下水道システムを普及させるための活動を行う、産学官の専門家機関のコンソーシアム組織
- 2009年4月28日に設立



※現時点の対象国: インド、ベトナム、中国、サウジアラビア

2. 具体的な活動内容①

(1) 海外の国々の課題解決に向けた調査活動、プロジェクト形成支援活動

- 海外の国々の要請に応じて現地調査、ワークショップ等の活動を行います。
- これらの活動を通じ、JICA等の国際協力機関と連携し、我が国による具体的な技術協力プロジェクトや円借款プロジェクトなどのプロジェクト形成を技術的側面から支援します。

－活動事例－(インド・バンガロール 水環境セミナー 2009年2月)

- ・ 背景 : バンガロールでの下水再生水利用へのニーズ、日印交流における重要テーマ(下水汚泥等のエネルギー化技術など)
- ・ 内容 : 下水再生水利用に関する日本の政策や再生水利用技術として今後国際展開が期待されている日本の膜処理技術や下水汚泥等のエネルギー化技術の解説
- ・ 参加機関 : 日本側・・・国土交通省、日本下水道事業団、(財)下水道新技術推進機構、下水道関連企業(2社)
インド側・・・都市開発省、バンガロール上下水道局等

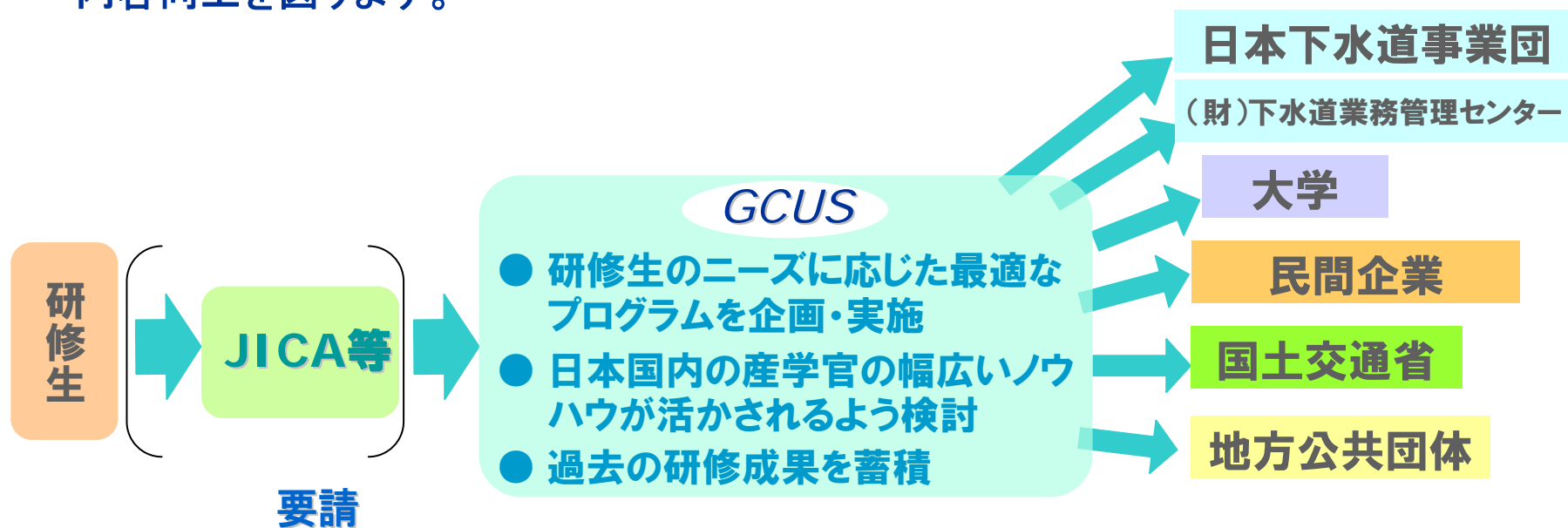


バンガロールでのセミナーの様様

2. 具体的な活動内容②

(2) 研修の総合的マネジメント

- 海外からの研修の受け入れに際して、日本国内の産学官の幅広い専門家機関による講義等の中から、研修生のニーズに応じた最適なプログラムを企画、実施します。
- 過去の研修実績を評価・蓄積し、以後の研修に役立てることにより、研修プログラムの内容向上を図ります。



2. 具体的な活動内容③

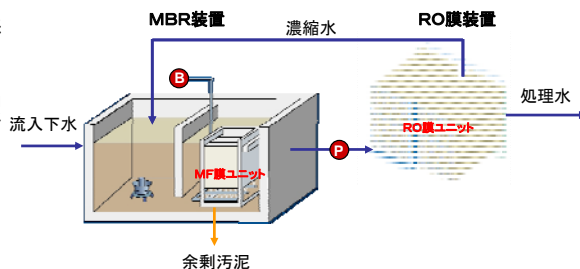
(3) 対象国のニーズに合った、オリジナルの技術指針の整備・提供

- 処理施設の高度化、下水汚泥の再資源化など、対象国のニーズに応じて普及させるための最適な技術指針を整備し、提供します。

<国際展開が期待される日本の多様な技術>

○膜処理技術

- ・膜を介して物質を分離する技術
- ・シンプルなシステム構成で維持管理が容易
- ・通常の下水处理より良好な処理水を得ることが可能



○下水汚泥のエネルギー化技術

- ・下水汚泥の持つ有機物をエネルギーとして利用する技術
- ・炭化汚泥や消化ガスを利用した発電等



○管渠の非開削技術

- ・下水管渠を非開削で整備・更新（超寿命化）

推進工法

更生工法

No.5-No.4 第1スパン到達 1259m



我が国で60年以上の歴史をもつ非開削による管渠の埋立技術。既に台湾、中国、英国、シンガポールなど海外で活躍中。

プラスチック材により既存管渠の内面を被覆し、施設の超寿命化を図る技術

○散水ろ床法

- ・我が国では近年ほとんど採用されなくなったが、昔は多くの実績があり、部分的な改良も含め、海外の下水道整備に貢献できる可能性がある。



2. 具体的な活動内容④

(4) 国際的ネットワークによる交流活動

- 海外の下水道関係機関とのネットワークを築き、交流活動を進めます。
- 日本の最新の下水道政策、技術などを常時発信するとともに、世界の下水道関係情報を集約し、情報拠点を構築します。



海外下水道機関との交流



メールマガジンの配信



YearBookの発行



GCUSホームページ

3. 第5回世界水フォーラムでGCUSが支持されました

(セッション:「水セクター強化のための専門家のネットワークや学会の活用」)

- 「水・衛生問題の解決に向け、今後どのような行動をとるのか」との決意を問われ、改めて、「日本下水道協会として、GCUSを中心とした国際貢献活動を展開していく旨決意を述べた。
- GCUSの活動内容を支持する意見があったほか、会議終了後には、GCUSとの連携を図りたいとする国々から個別の接触があった。



4. 現在までの活動内容①

- 下水道研修等の実施：各国からの研修生や視察団を受入れ、
我国の技術や企業を紹介
韓国、フィリピン、サウジアラビア、モンゴル、モルジブ、
コスタリカ、ベトナム
- プロジェクト形成を目指した国別活動：具体的プロジェクト実現
を目指し国別に支援活動を展開
 - 中国グループ（現地調査2回、中日韓国国際ワークショップ
の開催・常州市）
 - サウジアラビアグループ（現地調査、下水道管理技術
セミナーの開催・リヤド市）
 - ベトナムグループ（現地調査、建設大臣訪日関連・企業
紹介・ワークショップ開催）
 - インドグループ（日印会議参加）

4. 現在までの活動内容②

- ネットワークの構築：各国の下水道関係組織等とのネットワーク構築により国際活動を支援
 - 韓国、中国、台湾の下水道関係協会を中心としたネットワーク（今後の拡大予定：ベトナム、モンゴル、オーストラリア、マレーシア、シンガポール、インド、インドネシア、タイとのネットワーク（順不同））
- 国際的な広報活動：我が国が進める国を挙げての国際的水問題への取り組みをアピール
 - 第5回世界水フォーラム（トルコ）、シンガポール国際水週間ブース展示、アセットマネジメント国際会議開催（東京）
 - スtockホルム世界水週間、WEFTEC '09ブース展示（米国）

5. GCUSのコンタクトポイント

- GCUSに関するお問い合わせは下記まで

✓事務局	: 日本下水道協会 研修・国際課
✓所在地	: 東京都千代田区大手町2丁目6番2号
✓担当者	: 小関
✓メール	: info@gcus.jp
✓電話	: +81-3-5200-0816
✓FAX	: +81-3-5200-0847
✓ホームページ	: http://www.gcus.jp/



Japan Sewage Works Association